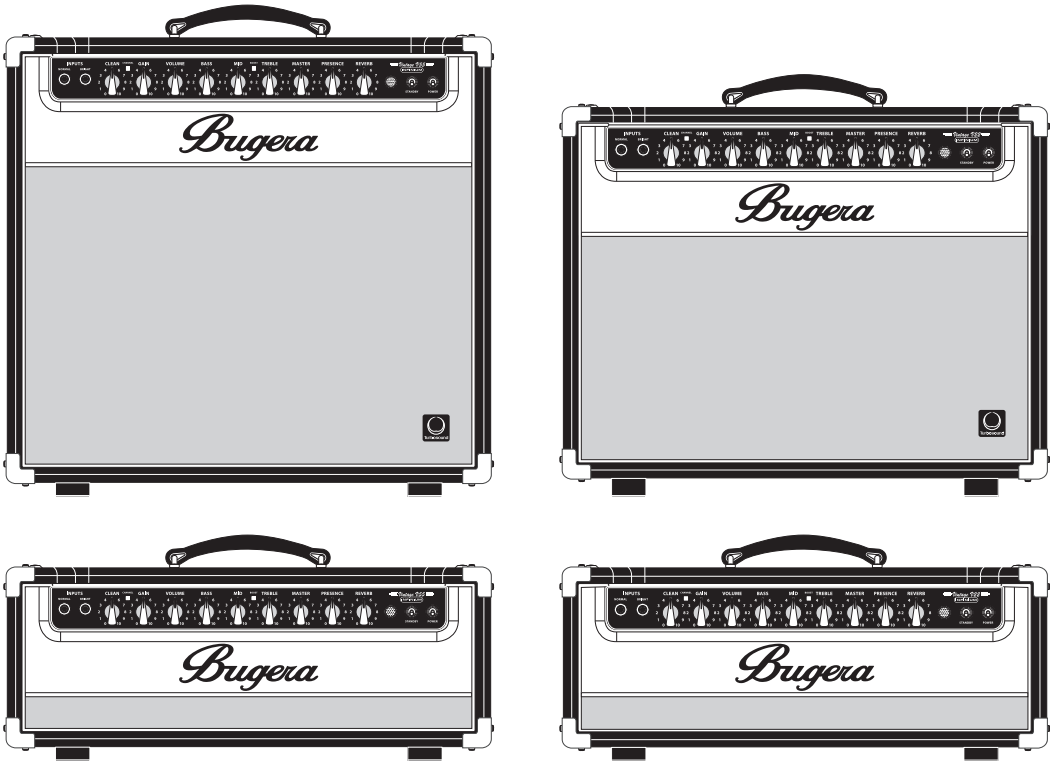
クイックスタートガイド

JP



Bugera

V55HD INFINIUM/V22HD INFINIUM
55/22-Watt Vintage 2-Channel Tube Amplifier Head with INFINIUM Tube Life Multiplier and Reverb

V55 INFINIUM/V22 INFINIUM
55/22-Watt Vintage 2-Channel Tube Combo with INFINIUM Tube Life Multiplier,
Original TURBOSOUND Speaker and Reverb

V 6.0

JP

JP 安全にお使いいただくために

CAUTION
RISK OF ELECTRIC SHOCK!
DO NOT OPEN!
ATTENTION
RISQUE D'ÉLECTROCUTION !
NE PAS OUVRIR !

注意
感電の.恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル（¼" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル）を使用してください。

注意
火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

注意
このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

注意
取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用の前に良くお読みください。

注意

1. 取扱説明書を通してご覧ください。

2. 取扱説明書を大切に保管してください。

3. 警告に従ってください。

4. 指示に従ってください。

5. 本機を水の近くで使用しないでください。

6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。

7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。

8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. ニ極式プラグおよびアースタイプ(三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。ニ極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広くなっています。アースタイプの三芯プラグにはニ本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地（アース）が確保されていることを確認して下さい。

12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。

17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いただけません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45℃ 以下の温帯気候でご使用ください。

法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas、Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TC Electronic、TC Helicon、Behringer、Bugera、Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2023 無断転用禁止。

限定保証

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 community.musictribe.com/pages/support#warranty にて詳細をご確認ください。

JP

重要な注意事項

次の事項の確認を怠ると、アンプリファイヤーやラウドスピーカーの損傷の結果となる場合があります。 この用な場合による損傷は、保証の対象外となります。

- ラウドスピーカーが正しいインピーダンスであること。 適切な出力ソケットが使われていることを確認してください。
- アンプとラウドスピーカーの接続には、必ずラウドスピーカー用のケーブルを使用してください。 楽器用のケーブルやマイクロフォン用のケーブルは使わないでください。

ご使用の前に

この製品は輸送時の安全のために組み立て工場で注意深く梱包されています。ボール紙の箱の状態に損傷が見られる場合は、機器をすぐ調べて、物理的な損傷がないかどうか確認してください。

- 機器が損傷していた場合は、弊社に直接送らないでください。すぐに機器を入手した販売店と配達した運送業者に知らせてください。それ以外の場合は、すべての交換/修理の要求が無効になる場合があります。
- 保管と運送による損傷を防止するため、つねにオリジナルの梱包を使用してください。
- 子供から目を離し、機器またはパッケージで遊ばせないでください。
- すべてのパッケージ部材は環境的に適切な方法で処分してください。
- 十分な通風を確保してください。オーバーヒートを避けるため、温熱機のそばで使用しないでください。
- すべての機器が適切にグランド接続されていることを確認してください。グランド接続用の導体を機器や電源ケーブルから外さないでください。機器は常時コンセントの安全用のグランド接続に接続されている必要があります。

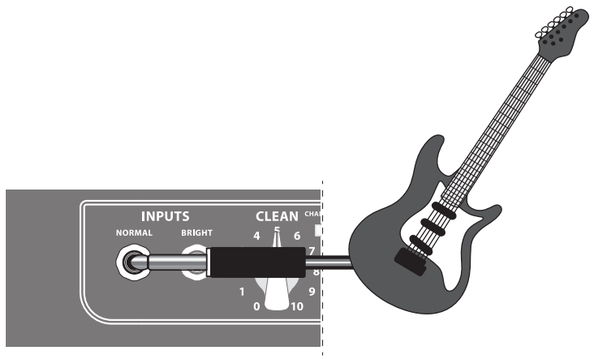
設置上の重要な注意事項

- 強力な放送電波や高周波の発信源の影響により、音質が損なわれる場合があります。トランスミッターと機器との距離を離したり、すべての接続にシールドされたケーブルを使ってください。

Bugera V55 INFINIUM/V55HD INFINIUM/V22 INFINIUM/ V22HD INFINIUM フックアップ

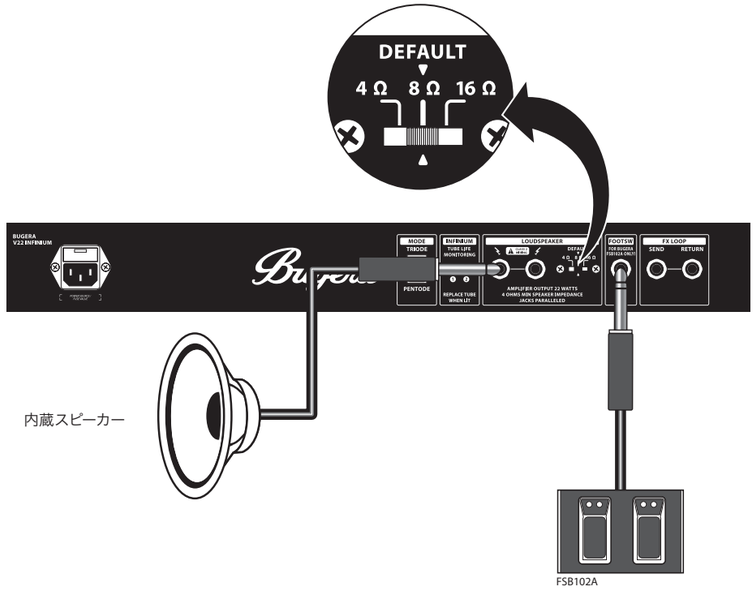
JP

ステップ 1: フックアップ

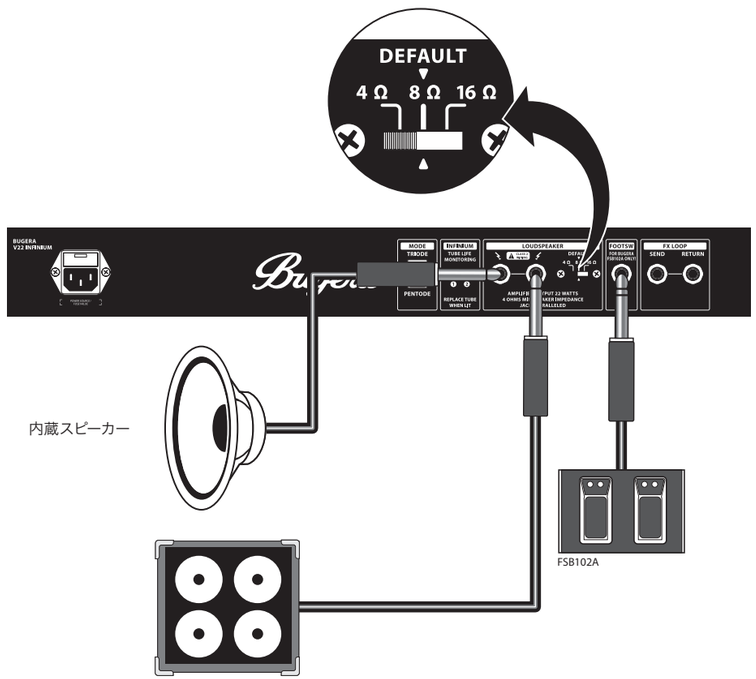


基本的な接続

V22/V55 と追加キャビネット



FSB102A



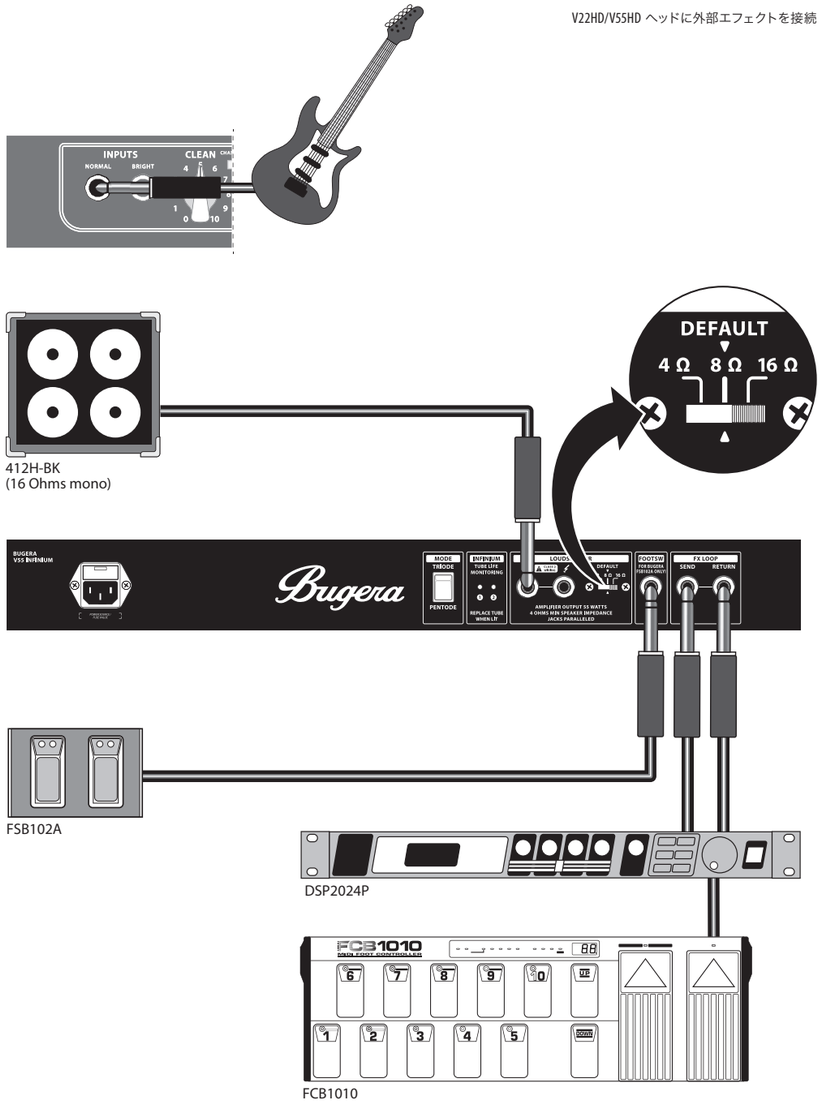
FSB102A

412H-BK

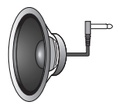
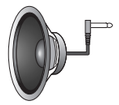
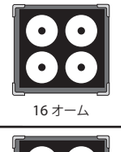
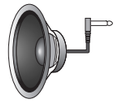
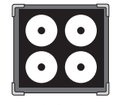
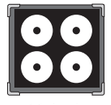
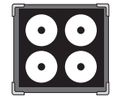
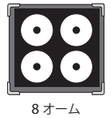
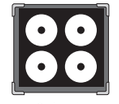
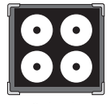
Bugera V55 INFINIUM/V55HD INFINIUM/V22 INFINIUM/ V22HD INFINIUM フックアップ

JP

ステップ 1: フックアップ



スピーカーとインピーダンス設定

LOUDSPEAKERS (CLASS 2 WIRING)		IMPEDANCE 4Ω 8Ω 16Ω	IMPEDANCE 4Ω 8Ω 16Ω	IMPEDANCE 4Ω 8Ω 16Ω
	✖		✔	
	 16 オーム	✔		
	8 オーム	✔		
✖	16 オーム			✔
 16 オーム	 16 オーム		✔	
 16 オーム	 8 オーム	✔		
 8 オーム	 8 オーム	✔		

注意: 不適切なインピーダンスの選択は、アンプリファイヤーに損傷を与える恐れがあります!

Bugera V55 INFINIUM/V55HD INFINIUM/V22 INFINIUM/V22HD INFINIUM コントロール

JP

ステップ 2: コントロール

INPUT — ギターを NORMAL か BRIGHT の端子に接続します。ハムバッカー付きのギターなら、BRIGHT の端子が良いでしょう。

CHANNEL — クリーンとリードのチャンネルを切り替えます。

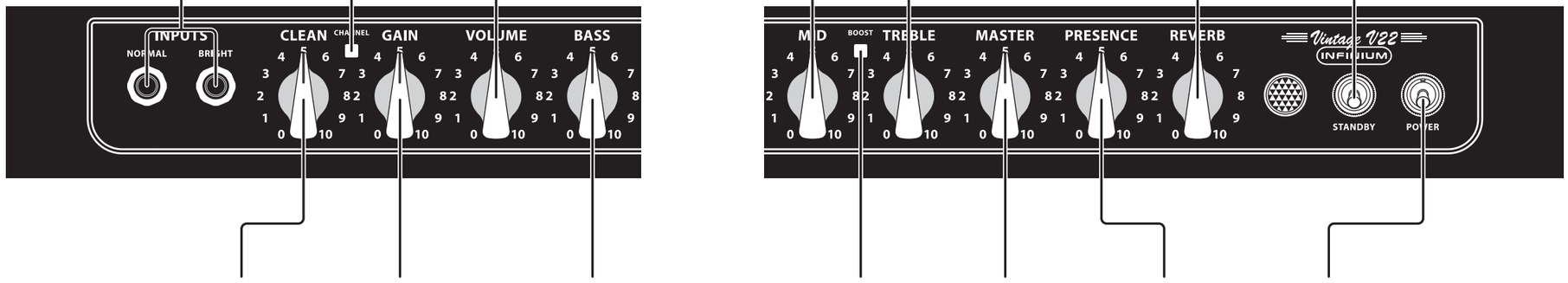
VOLUME — リード・チャンネルのボリュームを調節します。

MID — 中音域を調節します。

TREBLE — ギターのトーンの高音域を調節します。

REVERB — リバーブ・エフェクトの量を調節します。

STANDBY — アンプの出力をミュートします。ギターを交換する、MODE スイッチを変える、別のインピーダンスを選ぶ、時間をおく場合などに、STANDBY を使ってください。



CLEAN — クリーン・チャンネルのボリュームを調節します。

GAIN — リード・チャンネルのディストーションの量を調節します。

BASS — ギターのトーンの低音域を調節します。

BOOST — 中音域でブーストを加えます。

MASTER — (複数の)スピーカー全体のボリューム出力を調節します。

PRESENCE — 高音の明瞭度とシャープさを調節します。

POWER — アンプの電源をオンオフします。電源が入っているとき、ジュエル・ランプが点灯します。

JP

Bugera V55 INFINIUM/V55HD INFINIUM/V22 INFINIUM/V22HD INFINIUM コントロール

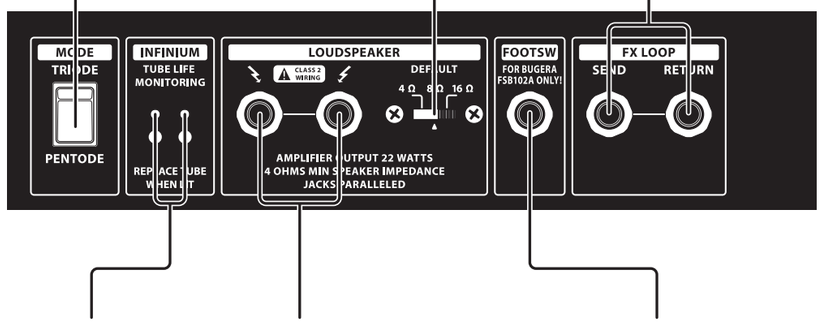
ステップ 2: コントロール

POWER SOURCE — 同梱されている IEC 規格のケーブルをこのソケットと主電源に接続します。

MODE — TRIODE (半分のパワー) と PENTODE (フルパワー) のオペレーションを切り替えます。

IMPEDANCE SELECTOR — 4, 8 と 16 オームを切り替えます。

FX LOOP — 外部のエフェクト·プロセッサーをシグナルの経路にルーティングしたり、プリアンプの信号をアンプリファイヤーに送ります。



INFINIUM LEDs — 出力真空管の交換が必要になると、継続的に点灯します。

LOUDSPEAKER OUTPUTS — 内蔵スピーカーと (または) 追加のスピーカー·キャビネットをこれらの端子に ¼ インチ·スピーカーケーブルを使って接続します。シールドケーブルは使わないでください!

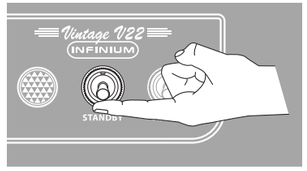
FOOTSW — 同梱されている FSB102A フットスイッチを接続します。

Bugera V55 INFINIUM/V55HD INFINIUM/V22 INFINIUM/V22HD INFINIUM はじめに

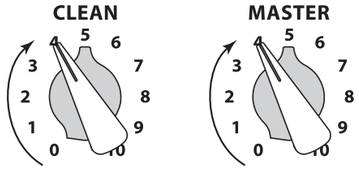
1 MASTER ノブを 0 (完全に左) まで下げます。

2 POWER スイッチをオンにします。青のジュエル･ランプが点灯します。

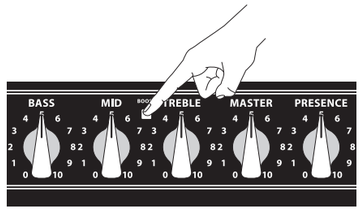
3 真空管が暖まるまで数分待ってから、STANDBY スイッチをオンにします。



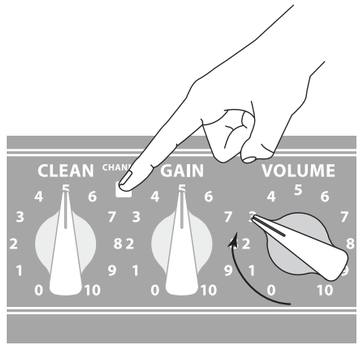
4 MASTER と CLEAN ノブをまず 4 の位置まで上げます。



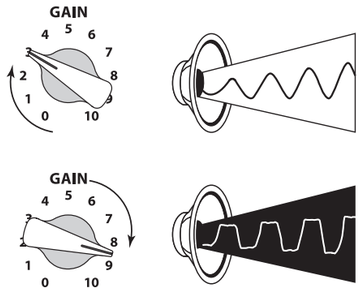
5 BASS, MID, TREBLE と PRESENCE ノブを使ってアンプのトーンのキャラクターを調節します。中域の周波数をブーストするには、BOOST ボタンを押します。



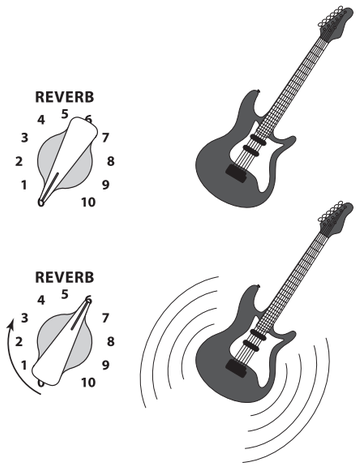
6 CHANNEL ボタンを押して、リード･チャンネルを選び、VOLUME ノブを 3 の位置まで上げます。



7 GAIN ノブを使ってディストーションの量を調節します。



8 REVERB ノブを時計回りに回して、リバーブを加えます。REVERB は FSB102A フットスイッチで、オンとオフの切り替えが可能です。



9 別のキャラクターとダイナミックレスポンスを得るには、まず STANDBY スイッチをオフにし、リアパネルの MODE スイッチを TRIODE の設定に切り替えます。それから STANDBY スイッチを再びオンにします。

10 演奏をお楽しみください!

JP

BUGERA INFINIUM Tube Life Monitoring

INFINIUM 真空管寿命モニタリング (INFINIUM Tube Life Monitoring) 回路は、真空管の経年変化に関わらず、出力真空管の性能を最大限引き出し、音色の一貫性を保つよう、出力真空管のバイアスを常にモニタリングします。出力真空管の交換が必要になると、バックパネルにある、その真空管に対応する LED が継続的に点灯します。

この回路は、各真空管を独立にモニタリングしているため、真空管をマッチペアでお買い求めいただく必要がありません。各真空管は、主電源の電圧偏移に関わらず、最適な電流レベルで動作します。

真空管の交換が必要になった際は、新しい真空管を差し込めば、即座にアンプの使用を開始できます; 専門技術者による新しい真空管のバイアス調整は不要です。

故障した出力真空管の交換:

1. アンプの電源を切り、触れても安全な温度まで出力真空管が冷えるのを待ちます。
2. 片手の 2 本の指で、真空管の固定器具をシャーシ側に押し下げ、真空管を軽く前後に動かして緩めながらそっと引っぱって、ソケットから外します。
3. **V55/V55HD:** 新しい真空管のピンがソケットの対応する穴に合っていること、そしてセンターコーディングピンがオクタルソケットの適した位置にガイドが合わされていることを確認しながら、慎重に新しい真空管を挿入してください。
   V22/V22HD: 新しい真空管のピンがソケットの対応する穴に合っていること、そしてピンの一部抜けがノーバルソケットのギャップに適切に合っているかを必ず確認してください。
4. ソケットにしっかり固定されるまで、新しい真空管をゆっくりと押しこみます。
5. アンプリファーをスタンバイ・モードに戻します。
6. 真空管が動作温度まであたたまったら、アンプをスタンバイ・モードから切り替えて、オンにします。
7. INFINIUM 真空管寿命モニタリング LED が消えたら、演奏を開始できます。

フロントパネルのライトが頻繁に点滅する場合、アンプに多くの問題が起こっており、正常に動作できない状態となっています。このような場合は、ただちにパワーアンプ真空管を交換していただくことをお勧めします。

JP

技術仕様

	V55, V55HD	V22, V22HD
プリアンプ		
チューブ		
タイプ	12AX7	
通常の入力		
インピーダンス	470 k Ω	
明るい入力		
インピーダンス	147 k Ω	
エフェクト送信		
インピーダンス	1 k Ω	1.2 k Ω
エフェクトリターン		
インピーダンス	41 k Ω	53 k Ω
最大入力感度	3 dBV	7 dBV
アンプセクション		
チューブ		
タイプ	2x 6L6	2x EL84/7189/6BQ5
出力電力		
V22 (HD) / V55 (HD)	55 W	22 W
スピーカーコネクタ		
タイプ	¼" アンバランスモノジャック	
負荷インピーダンス	4、8、16 Ohm 切り替え可能	
内蔵スピーカー (**V22、V55 のみ**)		
タイプ	12" Turbosound, TS-12G320A8	
インピーダンス	8 Ω	
力	80 W	
電源		
消費電力	165 W	72 W
ヒューズ	100-120 V T 2A H 250 V	100-120 V T 1A H 250 V
	220-230 V T 1A H 250 V	220-230 V T 630 mA H 250 V
主電源接続	標準 IEC レセプタクル	
寸法/重量		
V22		
寸法 (H x W x D)	453 x 572 x 270 mm (17.8 x 22.5 x 10.6")	
重量	19.4 kg (42.7 lbs)	
V55		
寸法 (H x W x D)	545 x 597 x 270 mm (21.5 x 23.5 x 10.6")	
重量	23 kg (50.7 lbs)	
V22HD		
寸法 (H x W x D)	238 x 572 x 270 mm (9.3 x 22.5 x 10.6")	
重量	12.7 kg (28 lbs)	
V55HD		
寸法 (H x W x D))	238 x 597 x 270 mm (9.3 x 23.5 x 10.6")	
重量	14.8 kg (32.6 lbs)	

JP

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

2. 故障: Music Tribe ディーラーがお客様のお近くにないときは、musictribe.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お 客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。

3. 電源接続: 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

Bugera